

第38回「感性研究フォーラム」講演会

メンズファッションにみる感性

主催：繊維学会研究委員会「感性研究フォーラム」、京都工芸繊維大学繊維科学センター
協賛：日本繊維製品消費科学会、日本繊維機械学会、日本色彩学会、色材協会、日本家政学会、
京都市産業技術研究所 知恵産業融合センター（交渉中）

日時：平成24年11月30日（金）13:30～17:00

場所：京都工芸繊維大学（松ヶ崎キャンパス）60周年記念館1階

京都市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車 徒歩約8分

京都工芸繊維大学へのアクセス：http://www.kit.ac.jp/O1/O1_110000.html

キャンパスマップ：<http://www.kit.ac.jp/O1/gakunaimap/matugasaki.html>

プログラム：

13:10 受付

13:30～13:40 開会挨拶 京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科 佐藤哲也
（研究委員会「感性研究フォーラム」委員長）

13:40～14:40 コミュニケーションⅠ（講演）

『メンズファッションにおける消費志向の変化に対応する販売』

有限会社石田洋服店 代表取締役 石田原 弘

講演概要： 消費者、特に男性の消費志向は高度成長期から現在にかけて大きく変化しました。「オタク化」が進むメンズファッション市場において、いかにファンを獲得するか、川下の役割が重要になってきています。物を購入する「楽しさ」とは何か、特にファッション市場においての「こだわり」や「わざわざ」の販売を考えます。また、アイテム間、地域間競争が激化する中、いかに生き残っていくかを掘り下げていきます。

14:40～15:40 コミュニケーションⅡ（講演）

『日本男性のおしゃれの変遷 ―時代とともに男はこう変わった―』

株式会社資生堂 ビューティートップスペシャリスト 原田 忠

講演概要： 資生堂が初めて化粧品を男性にもPRしはじめたのは、1897年（明治30年）に発売された「水油」。「紳士貴婦人方に告ぐ」というコピーで宣伝された、毛髪に光沢を与える整髪料が最初です。以来120年にわたり、資生堂は男性の美容文化、ヘアスタイルの変化に関わり続けてきました。男性のおしゃれ意識は、ファッション、風俗そして文化と密接に関係しあっています。過去の歴史を振り返ることで見える男の美意識の変化、最先端のメンズトレンドから落とし込まれる新商品開発の裏側、新しい男性美容文化のこれから・・・を、お話しさせていただきます。

15:40～16:00 休憩

16:00～17:00 コミュニケーションⅢ（パネルディスカッション）

司会 京都工芸繊維大学

佐藤哲也

パネリスト 有限会社石田洋服店

石田原 弘

株式会社資生堂

原田 忠

神戸松蔭女子学院大学

徳山孝子

日本毛織株式会社

熊澤真理子

定員： 100名（先着順）

参加費： 一般 3,000円、学生 1,000円、研究委員会会員 1,000円

申込方法： 氏名、所属、連絡先、E-mailを明記の上、下記までFAX、またはE-mailにてお申し込みください。

申込先： 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

京都工芸繊維大学 繊維科学センター 感性研究フォーラム事務局 北口紗織

TEL/FAX: 075-724-7578 E-mail: saori.kit@gmail.com